※令和４年度以降入学生用

学校番号	1005

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	古典探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「古典探究　古文編」「古典探究　漢文編」　（第一学習社）						
副教材等	「新演習古典アチーブ２　三訂新版」（桐原書店） 「九訂版　読解をたいせつにする　体系古典文法」（数研出版） 「基礎から解釈へ　漢文必携　五訂版」（桐原書店） 「新版　理解を深める核心古文単語 351」（尚文出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・上代から近現代に受け継がれてきた言語文化への理解を深めるための科目です。
・「古典探究」の授業を通して、先人のものの見方、感じ方、考え方を捉えて内容を解釈し、それを踏まえて自身のものの見方や感じ方、考え方を深め、現代に生きるみなさんの課題発見、解決につなげてください。
・古典を読む際は、作品に親しむとともに、正しく心情等を理解するために語彙や文法の知識を身に付けてください。
・作品そのものだけではなく、作者や時代の背景、歴史、関連する他の作品など、様々なつながりを意識しましょう。
・国語の特徴的な語句や表現技法を学び、自分の体験や思いを効果的に伝えるための工夫ができるようになりましょう。
・話し合いや文章記述、発表など、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を取り入れた授業を行います。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。提出物の期限は守りましょう。授業中のノートについては板書を書き写すだけでは、評価の対象になりません。自分の考えや、周りの人の意見なども記入していきましょう。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し、効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めようとしている。	古典に表れている、人間、社会、自然などに対する、ものの見方、感じ方、考え方にある、現代と共通するものや、現代とは異なる古文特有、あるいは、漢文特有の世界との関わりの中で、深く共感したり、豊かに想像したりする力を伸ばし、伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	生涯にわたって古典に親しむことで自己を向上させるとともに、我が国の歴史の中で創造され、継承されてきた文化的に高い価値をもつ言語を用いた文化的な言語生活を理解し、尊重し、自らが発展させていく担い手としての自覚を持ち、言語を用いて他者や社会に関わろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	説話を音読し、和歌についての知識を確認する ［教材］ 小式部内侍が大江山の歌の事（古今著聞集）	a：古典の世界に親しむために必要な文語のきまりや、和歌の修辞、表現を的確に理解し、作者の心情を理解している。 b［ 読 ］：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉え、言語活動を通して、母である和泉式部の思いも読み取っている。 c：説話として語り伝えられた背景事情について積極的に理解しようとし、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
	友情に関する故事を読む ［教材］ 知音（呂氏春秋）	a： 古典の世界に親しむために必要な訓読のきまりを理解するとともに、否定・一部否定・感嘆に留意し、構成や展開に即して内容を的確に理解している。 b［ 読 ］：作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 c：我が国の言語文化は、中国をはじめとする外国の文化の受容と変容を繰り返しつつ築かれてきたことに気付き、故事成語の由来と意味を知ろうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
	詩にうたわれた情景を読み味わう ［教材］ 独坐敬亭山（李白） 九月九日憶山東兄弟（王維） 江村（杜甫）	a： 古典の世界に親しむために必要な定型詩である漢詩の特色について理解している。 b［ 読 ］：人物、情景、心情などをどのように書き手が描いているのかをとらえるとともに、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c：我が国の言語文化は、中国をはじめとする外国の文化の受容と変容を繰り返しつつ築かれてきたことに気付き、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
	中世の随筆を読み、古人の無常観に触れる ［教材］ ゆく川の流れ（方丈記）	a：古典の世界に親しむために、古典を読むうえで必要な文語のきまりや助動詞・助詞など文法を理解している。 b［ 読 ］：筆者のものの見方、鋭さ、深さを理解するとともに、人間や社会に対する自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。 c：作者の人の世に対する思いを通して、積極的に古文を自分に引きつけて解釈し、意見や心情のおもしろさを読み取ろうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
	史書を読む入門として、逸話を読み、歴史の一場面を読み味わう ［教材］ 鶏鳴狗盗（十八史略）	a： 古典の世界に親しむために必要な基本的句法（使役）に留意し、短文の逸話を読み、的確に内容を理解している。 b［ 読 ］：文章から人物の行動と心情を読み取り、同じ人物を描いた他の文章での描かれ方と比較し、考察を深めている。 c：鮮やかに描かれる歴史の一場面を読み、人物像を表現に即してとらえ、歴史叙述への関心を深めようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

2学期	日記文学に触れ、現代にも通じる心を理解する ［教材］ うつろひたる菊（蜻蛉日記）	a：古典の世界に親しむために、心情を交換するための手段としての和歌を的確に理解している。 b［ 読 ］：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、筆者の心情の変化を的確に読み取るともに、平安朝の結婚生活について考察を深めている。 c：和歌を粘り強く読み解き、学習の見通しをもって現代にも通じる心を考察しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
	『史記』に描かれた漢楚の興亡の史実と豊かな表現を味わう ［教材］ 鴻門之会 ① 剣の舞 ② 樊噲、頭髪上指す ③ 四面楚歌 時利あらず	a：古典の世界に親しむために必要な基本的句法（反語・疑問・抑揚）に留意し、的確に内容を理解している。 b［ 読 ］：文章から人物の行動と心情を読み取り、項羽や劉邦の人物像や行動を的確に理解している。 c：紀伝体による『史記』に描かれた漢楚の興亡や、作者である司馬遷について興味を持ち深めようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
	清少納言の文章のもととなった漢詩や逸話を知る ［教材］ 二月つごもりごろに（枕草子）	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な助動詞・助詞・敬語など文法のきまりを理解している。 b［ 読 ］：内容・形態によって大別される章段の一つを読み、筆者のものの見方、鋭さ、深さを理解し、内容を解釈している。 c：当時の人々が漢文をどの程度知っていたのか、漢詩や逸話を調べ、わかったことを伝えようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
	源氏物語を読み、政治の世界を知る ［教材］ 光る君誕生（桐壺）	a：登場人物の人物関係を整理し理解するとともに、作者である紫式部や文学史、敬語や文法を理解している。 b［ 読 ］：重要な語句や表現を調べ、登場人物の人間関係を理解し、心情の変化を的確に理解するとともに、これまでに編まれた優れた現代語訳も味わっている。 c：『源氏物語』という優れた古典作品に対し、政治の視点からも興味を持とうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
	諸家の思想に触れる ［教材］ 何必曰利（孟子） 天下莫柔弱於水（老子）	a：古典の世界に親しむために必要な基本的句法（限定・仮定・比較・二重否定）に留意し、的確に内容を理解している。 b［ 読 ］：論語と並ぶ儒家の古典である孟子を読み、孟子の人間理解に触れるとともに、道家の古典である老子を読み、それぞれの考えの進め方や、文章の筋道を的確にとらえている。 c：古代中国思想の名句を読み、人間存在についての考察を深めようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
3学期	先人のものの見方、感じ方、考え方に親しむ ［教材］ 源氏の五十余巻（更級日記）	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な形容詞・助動詞・助詞・敬語など文法のきまりを理解するとともに、筆者菅原孝標女と物語の関係を通し、我が国の文化を理解している。 b［ 読 ］：少女時代の自分を客観的に見つめる作者によって率直に綴られた心情を通して、先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

		c：文章に表れている人物の心情を表現に即して読み、作者の身に起こったことや、創作物に興味を持ち調べようとしている。			
	法家の古典を読む ［教材］ 侵官之害（韓非子）	a：古典の世界に親しむために必要な基本的句法（疑問・二重否定）に留意し、的確に内容を理解している。 b［　読　］：儒家と対立する法家の古典である韓非子を読み、韓非子の人間理解に触れ、考えの進め方や文章の筋道を的確にとらえている。 c：諸家の思想を理解し、名句・名言について調べ、人間存在についての考察を深めようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準［ｂ］について…括弧内には［　話／聞、書、読　］のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　　）時間

・読むこと　…　（　　）時間